

■なまけもの

帝キネ 戸屋現代映畫

原作者

脚色者

監督者

撮影者

内山 菊子 女史
波間 高久 氏
深川 ひさし 氏
岡本 静夫 氏

主演役割

熊公 濱田 格氏
万公 藤間 林太郎氏
柳権兵衛 横山 隆吉氏
植村達夫 小島 洋吉氏
妻やす子 小池 春枝氏
娘みよ子 花房 延子嬢

解説——「新婦哲學」について深川ひさし氏が監督製作した現代劇である。

筋——熊公は負けず劣らぬの意欲者で二人は何となく骨が折れず資本がたまる仕事もなると不器用にも泥棒屋を開業したがこれが道に入ると仲々ケしむので敷度か失した。或夜植村家へ逃げ込んだが本物の泥棒と出會い本物は警官に捕へられたが彼等は主人の内意で救はれた。植村はとも植村家は今や家運倒壊の悲運に遭い植村は妻子を死出の道連れにしようとしたので熊公、萬公共に其の非を論じお互に協力して生きやうと相談が纏つた。かくて熊公は腕に覺えの棍棒を、植村は保険の外交員となり妻は家の



嫌なでし皆よく働いたので此上もなく幸福に生きる事が出来た。